

合同国際会議開催報告

アブドゥハン・バーナディ

Bernady O APDUHAN

九州産業大学 情報科学部 情報科学科

Faculty of Information Science, Kyusyu Sangyo University

bob@is.kyusan-u.ac.jp, <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~bob/>

1. はじめに

2012年9月4日から7日にかけて、本学で The 9th International Conference on Ubiquitous Intelligence Computing (UIC-2012 第9回ユビキタス・知能とユビキタス・コンピューティング国際会議)、The 9th International Conference on Autonomic and Trusted Computing, ATC-2012 (第9回自律的信頼性コンピューティング国際会議)、The 12th International Conference on Algorithms and Architectures for Parallel Processing, ICA3PP-12 (第12回並列処理のためのアルゴリズムとアーキテクチャ国際会議)の3つの合同国際会議を開催した。ヨーロッパ、アジア、など37カ国から約270名の大学研究者、企業研究者・実務家が参加して盛会のうちに終了した。

2. 会議の概要

第9回ユビキタス・知能とユビキタス・コンピューティング国際会議(UIC)においては、2つの招待講演、14のセッションで57の発表とデモンストレーションのセッションが開かれ、知能化されたスマートオブジェクトや計算環境、システム開発について最新の知見が披露され、情報交換が行われた。

第9回自律的信頼性コンピューティング国際会議(ATC)では、招待講演と、7つのセッションで23の発表が行われ、ユビキタス・コンピューティングの中心となる自律計算環境に関する技術について討議された。

第12回並列処理のためのアルゴリズムとアーキテクチャ国際会議(ICA3PP)においては、招待講演と、14のセッションで61の発表が行われた。また、The Third International Symposium on Multidisciplinary Emerging Networks and Systems (MENS-12)など、関連の深い国際シンポジウムも開催され、様々な研究者が情報交換する有益な機会となった。

また、5日には、UICとATC合同のパネルディスカッション「スマート惑星の挑戦」、ICA3PPのパネルディスカッション「並列分散コンピューティングの将来と挑戦」も行われ、終了時間を延長するほどの活発な討議が行われた。

3. 会場やレセプション

情報科学部の講義室を発表会場に、パネルディスカッションには1号館のS201号室、歓迎レセプションには1号館7階大会議室を使用して、宮崎学部長の挨拶をいただき、ホテル日航でのバンケットには山本学長にご臨席いただいた。

4. おわりに

本学の情報科学部での国際会議の開催も3回目となり、運営もかなり円滑に行われた。教職員の皆様、アルバイトの学生達に感謝申し上げる。



図1 開会式



図2 講演



図3 講演の聴衆



図4 パネルディスカッション



図5 熊本城、水前寺公園へのバスツアー